

**対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ミドルトン公立小学校給食室・食堂改修計画」
引渡式**

2019年5月15日、セント・トーマス県において、対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「ミドルトン公立小学校給食室・食堂改修計画」の引渡式が開催されました。

山崎大使は、本計画は、ミドルトン公立小学校の旧給食室閉鎖に伴い抱えてきた困難を解消し、地域の児童が日々通う学校に貢献すると信じていると述べました。また、日本政府は、人間の安全保障の理念を掲げ、「誰一人取り残されない」社会を目指しており、ジャマイカの子供たちが適切な教育機会を得るための活動に協力できたことは光栄であると述べ、同校児童の充実した学校生活と今後の活躍を念願しました。

ミドルトン公立小学校の既存の給食室の調理場は、全校児童分の給食を作るには不十分な広さで、屋根の破損や害虫の被害に遭うなどの衛生上も加わって閉鎖され、同校は、毎日約7キロメートル離れた別の公立小学校から給食を車で運んでいました。

自助努力での給食室改修が困難であった中、本計画で給食室が改修されたことで、同校は衛生的で、十分な量の給食を児童に提供することが可能となりました。

今般の引渡式には、被供与団体である小学校の代表、サミュエル・ダニエルズ無任所大臣（教育・青年・情報大臣兼任）、ロバート・ソン下院議員（セント・トーマス県西地区選出）、国家教育基金等の教育関係者、学校関係者、報道関係者、地域住民代表などの来賓が出席しました。

被供与団体代表は、日本の支援は、子供たちへの給食の実現にとどまらず、健康文化の創出に寄与する素晴らしいものだとの感謝を述べた他、ジャマイカ政府を代表して挨拶したサミュエル・ダニエルズ無任所大臣（教育・青年・情報大臣兼任）は、日本政府のジャマイカの教育発展への貢献を高く評価し、感謝の意を表明しました。また、ジャマイカは初等教育の効果を最大限に発揮するため、就学前幼児教育の整備に取り組んでおり、この分野でも将来的に日本の援助が得られればありがたいと述べました。また、同大臣は、学校関係者と保護者には未来を担う児童と教育環境を守る責任があるとして、今後もこの給食室・食堂を大切に維持管理することを望むと述べました。



挨拶する山崎大使



挨拶するサミュエル無任所大臣（教育・青年・情報大臣兼任）



整備された給食室から児童に給食を渡す大使



伝統舞踊で日本への感謝を披露した児童代表



テープカットする大臣と大使



式典に出席した児童・教員・地域住民